

いゅうがく館だより

令和5年5月号



4月23日 りゅうがく館で生涯学習講座合同開講式が行われました。講師を代表して「手話講座」の中浜政則先生があいさつ。式後は奄美図書館の加峯美由紀さんが講演をされました。「学んで楽しい」と題し自身の経験を交えながら生涯学習講座の楽しさを伝えました。



お知らせ

5月から生涯学習講座が始まりました！
日程は奄美新聞・南海日日新聞の行事案内コーナーや龍郷町HPに掲載しておりますのでご確認ください。

5月28日 10:00 からいゅうがく館親子読書室でおはなし会を行います。途中参加OKです。ぜひお立ち寄りください。



～ 新着図書案内 ～

《一般書》

- 『ゲームさんぽ』（いいだ/白夜書房）
- 『ドーパミン中毒』（アンナ・レンプケ/新潮社）
- 『魔女と過ごした七日間』（東野 圭吾/KADOKAWA）
- 『できない相談』（森 絵都/筑摩書房）
- 『読書嫌いのための図書室案内』（青谷 真未/早川書房）
- 『施工がわかるイラスト土木入門』（日本建設業連合会/彰国社）
- 『小屋を建てる』（扶桑社）
- 『映画と旅する365日』（Filmmarks/パイインターナショナル）
- 『孤独を楽しむ人、ダメになる人』（有川 真由美/PHP 研究所）

他

《児童書》

- 『そんなうそだ!』（ジーン・メリル/岩波書店）
- 『あなたのすてきなところはね』（玉置 永吉/KADOKAWA）
- 『すごいゴミのはなし』（滝沢 秀一/Gakken）
- 『中学生のおうち勉強法入門』（みおりん/実務教育出版）
- 『目でみる数字』（山出 高士/東京書籍）
- 『きょうせんそうがはじまると』（藤代 勇人/ニコモ）
- 『ニンジンジン』（キューライス/白泉社）
- 『自信スイッチ』（中島 輝/インプレス）
- 『あしたの幸福』（いとう みく/理論社）

他

今月のおすすめ本

《一般書》



『102歳、一人暮らし。』（石井 哲代/文藝春秋）
「中国新聞」に“人生100年時代のモデル”として密着記事が連載された102歳の哲代おばあちゃん、初めての本。自分らしくご機嫌に老いるためのヒントが満載。

『だしの研究』（柴田書店）
だしにこだわりをもつ東西7人の料理人に74のだしと、それを生かす料理を紹介してもらいました。だしの本質とその重要性、可能性など、だしを根本的に理解できる本です。



《児童書》



『自分を好きになれない君へ』（野口 嘉則/小学館）
人間関係で最も重要なのは「自分との関係」です。なぜなら、「自己受容」と「他者受容」は正比例するから。10代で苦しんだ著者が自らの体験をもとに温かな言葉で説明します
『あしあし ぱあっ』（海野 あした/アルファポリス）
このあしだあれ？足の形から、なんの動物が当ててみよう。人気の動物たちがたくさん登場する、ビビッドな色彩とユーモラスな動物の表情が楽しい0～2歳向け絵本です。

